

保険適用治療費 一覧 (2022年4月～)

一般不妊治療

一般不妊治療管理料 (3ヶ月に1回)	750円
人工授精	5,460円

生殖補助医療

生殖補助医療管理料 1 (月に1回)	900円
--------------------	------

* 検査代 (超音波・採血代等) は別途かかります。

* 注射・お薬代が別途かかります。

1.採卵

採卵術 (基本料)	9,600円
採取された卵子の数に応じて下記を加算する	
1個の場合	7,200円
2個から5個までの場合	10,800円
6個から9個までの場合	16,500円
10個以上の場合	21,600円

* 静脈麻酔を行った場合は別途費用がかかります

2.体外受精・顕微授精管理料

体外受精 (媒精) …ふりかけ	12,600円
顕微授精 (ICSI)	
1個の場合	14,400円
2個から5個までの場合	20,400円
6個から9個までの場合	30,000円
10個以上の場合	38,400円

* Split (体外受精及び顕微授精を同時に実施) の場合は、媒性の1/2の費用 (6,300円) + 顕微授精の費用となります。

* 精巣内精子採取術 (TESE) により採取された精子を用いる場合は、採取精子調整加算として、15,000円が追加になります。

3.受精卵・胚培養管理料

1個の場合	13,500円
2個から5個までの場合	18,000円
6個から9個までの場合	25,200円
10個以上の場合	31,500円
胚盤胞の作成を目的として管理を行った胚の数に応じて加算する	
1個の場合	4,500円
2個から5個までの場合	6,000円
6個から9個までの場合	7,500円
10個以上の場合	9,000円
先進医療 (自費)	
タイムラプス培養加算 (自費)	27,000円

4.胚凍結保存管理料

1個の場合	15,000円
2個から5個までの場合	21,000円
6個から9個までの場合	30,600円
10個以上の場合	39,000円

5.胚移植

新鮮胚移植の場合	22,500円
凍結・融解胚移植の場合	36,000円
以下を実施した場合は加算する	
アシステッドハッチング (AH)	3,000円
高濃度ヒアルロン酸含有培養液を用いた前処置	3,000円

高額療養費制度を利用すると規定上限額を超えた場合に還付があります (所得制限あり)

詳細は厚生労働省ホームページ「[高額療養費制度を利用される皆さまへ](#)」をご覧ください。